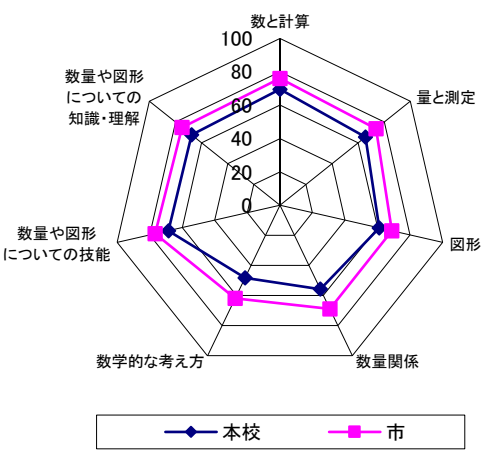


宇都宮市立富屋小学校 第6学年【算数】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	数と計算	69.6	76.1	73.5
	量と測定	65.5	73.6	70.1
	図形	61.0	68.8	66.6
	数量関係	55.8	68.9	64.5
観点別	数学的な考え方	48.2	61.8	54.9
	数量や図形についての技能	68.5	76.7	73.2
	数量や図形についての知識・理解	67.7	75.0	73.8

※参考値は、他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	領域の平均正答率は市の平均をやや下回った。 ○小数や分数の計算について、市の平均とほぼ同じである。 ●「分数の除法の意味(わり算の性質)を理解している」や「小数の除法の文章問題を表した図を選ぶこと」について、市の平均を下回った。	・計算の基礎・基本は少しずつ身に付いてきている。今後は、練習問題の量を増やし、計算の力を更に確実に身に付けさせたい。 ・復習の中で、計算の機械的なやり方だけでなく、その方法にどんな意味があり、なぜそうなるのか考えたり、図で表したりする活動を取り入れる。
量と測定	領域の平均正答率は市の平均を下回った。 ○「時速を求める式を選ぶこと」や「円の面積を求める式を選ぶこと」について、市の平均をやや下回ったが、正答率は80%を超えていた。 ●「図形の高さにあたる場所を選ぶこと」や「直方体を組み合わせた形の体積を求めること」について市の平均を下回った。	・面積や体積を求める問題について、縦や横、底辺や底面、高さなどの関係を正しくつかめるように復習する活動を取り入れたい。 ・時速の求め方や、速さと時間から道のりを求める問題についても、単位換算がある内容について取り組ませることが必要である。繰り返し学習させて、確実に身に付けさせたい。
図形	領域の平均正答率は市の平均を下回った。 ○合同な三角形を作図する問題について、市の平均とほぼ同じだった。 ●「内角の和を求める式を選ぶこと」について、市の平均を大きく下回り、正答率も低かった。 ●「線対称な図形の対応する点を見つけること」について、市の平均を下回り、正答率も低かった。	・多角形について、三角形を基にした構成を確かめる復習を取り入れ支援する。 ・線対称と点対称についての理解を深めるために、授業の中で繰り返し確認したり、教室に掲示物を貼って普段の生活の中でも復習させたりして、図形の知識を確実に身に付けさせたい。
数量関係	領域の平均正答率は市の平均を大きく下回った。 ○「円グラフから割合を読み取ること」や「比例の関係を、xとyを使って式に表すこと」について、市の平均と同じかやや上回った。 ●文字を使った式や割合、比の考え方を使って答えを求める問題については、市の平均を大きく下回り、正答率も低かった。	・割合と比の基礎的な内容の復習を行うだけでなく、記述式問題などの応用問題を扱い、いろいろな側面から解法を考えていく活動を多く取り入れ、数学的思考力を伸ばしていきたい。